



2021年4月12日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 40号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. ロンドン先物ココア価格がRSI分析ではかなり売られ過ぎの状態に。反発か？。(4/10)

ICE ロンドンのココア 5 月限の相対力指数 (RSI) は 30% を下回り、売られすぎの可能性を示した。* RSI は下記の表の下のグラフである。上はカカオ相場の 5 月限月の値動き。ポイントは下記。

- 過去 1 年間で、最も活発な先物はこのレベルを 3 回下回り、その後 20 日間で平均 2.6% 上昇した
- 5 月の ICE ロンドン・ココアは 200 日移動平均線を下回り、50 日移動平均線を下回っている
- ロンドンのココア 5 月限月は金曜日 2.7% 下落し、1,596 ポンド/MT となった。



上記の表からわかる事は、RSI が下限の 30% (緑線) を超えた後は、反転するトレンドが予測されている事、またこの 1 年間では 1550 ポンド当たりが底値であり、1600 ポンドを割り込んでいる現在は、安値圏に入っ

ているといえる。しかしながら、欧州のコロナの状況が好転しない等、世界経済はいまだ不透明なままであり、過去の分析は重要であるが、どの程度、底値付近で停滞するのか、比較的直ぐ反発するのか、または更に一段と下がっていくのかいずれの可能性もあるのが相場である。

ただ、実需家の方にとっては、今後1年を見据えた価格決定のタイミングとして、“過去の価格との比較において”は“安いレンジ”になっているという事は確かであるため、この先の1年以内の値決めが残っているポジションを決める分には統計的な分析では良いタイミングといえると考えます。

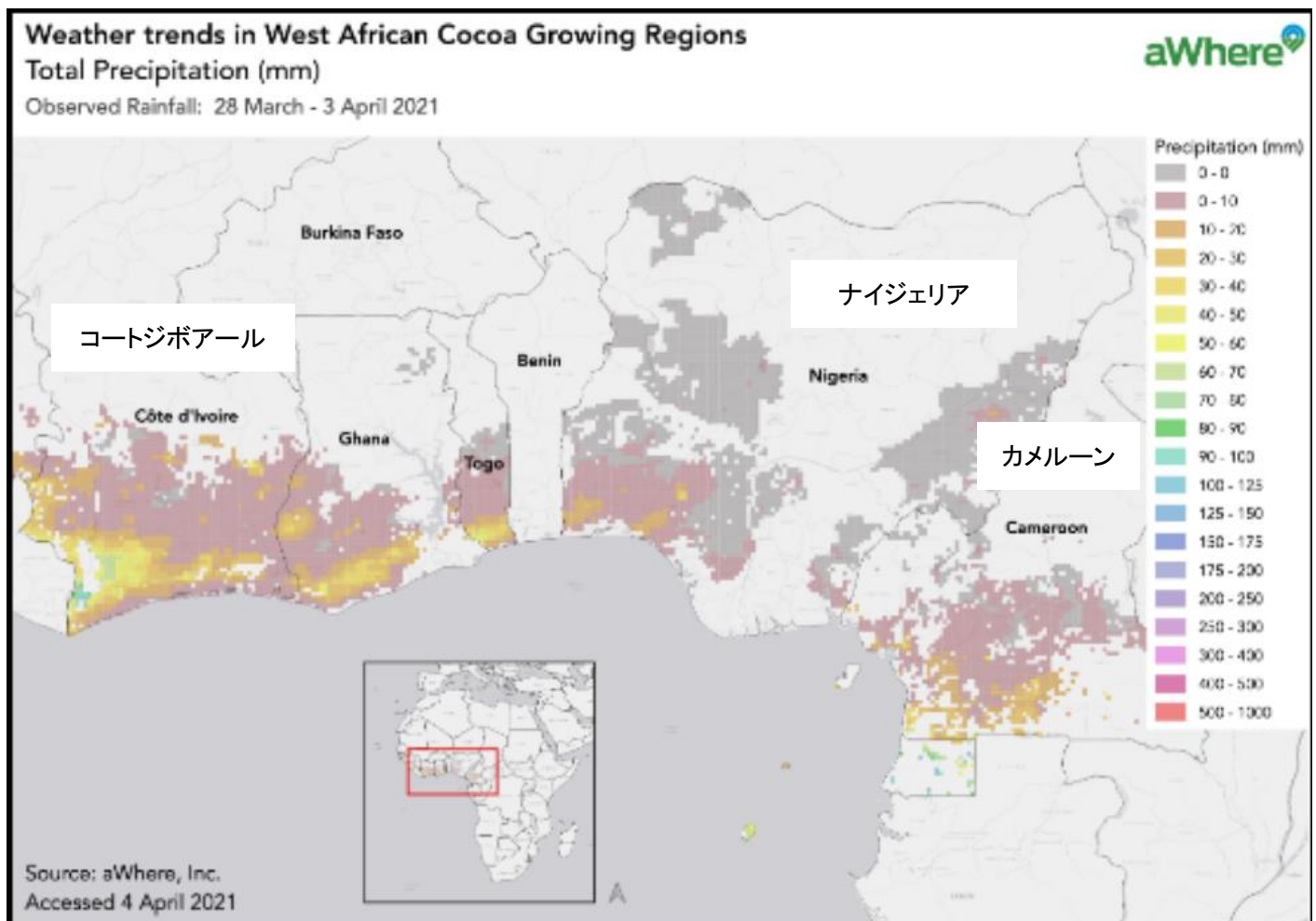
2. アフリカカカオ概況：コートジボワールなど生産国でミッドクロップの収穫が遅めのスタート(4/8)

コートジボワールのココア生産者は、先週から始まった年2回の収穫のうち、収穫量が少ない方のミッドクロップの取引で、まだ国内の一部でメインクロップの在庫を処分しようとしているため、例年に比べゆっくりにしたスタートになっていると述べた。

西部の町 Tai の生産者である Diarra Sekou 氏は「まだ収穫は始まっていないが、メインクロップの収穫で得た在庫をまだ販売している」と語った。「雨はまれにしか降らないが、カカオ農園は被害を受けておらず、心配はしていない」

さらに南下すると、Meagui の生産者 Seydou Ouedraogo 氏によると、雨不足で地面が固まり始めているとのこと。ガーナの生産者たちも、ここ数週間に比べて雨が少ないと報告していますが、まだ木を新鮮に保ち、ポッドを成長させるのに十分な水分が土壤に含まれていると話しています。

《西アフリカのカカオ生産国の降雨量 3月23日～4月3日》



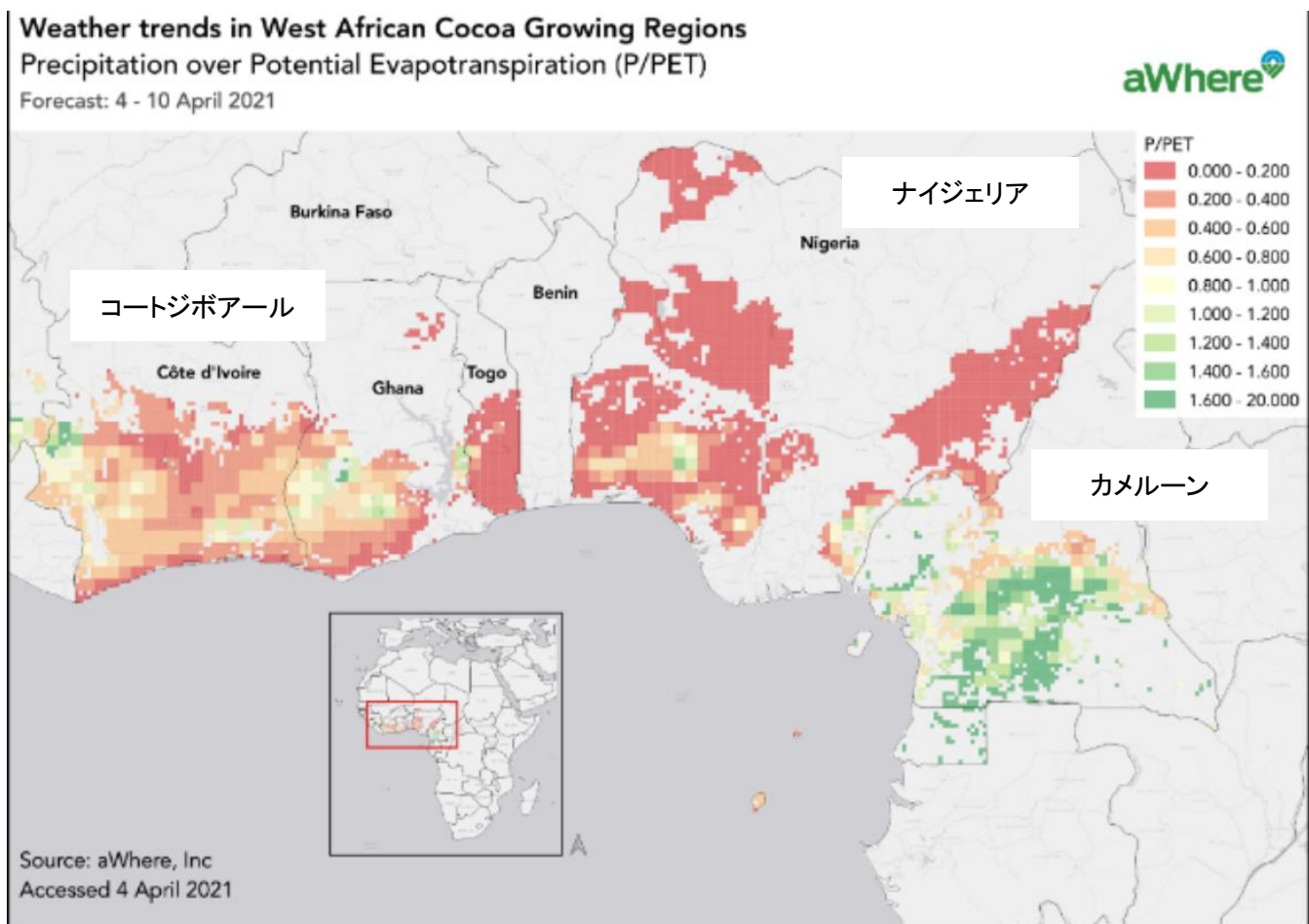
カメルーン :

ヤウンデの北 66 キロに位置する Ntui で 5 ヘクタールのカカオ農園を経営する Pocherie Tchaline 氏は、「前週の激しく激しい雨は金曜日までにかかなり収まり、中央部の一部の地域では数分間の小雨が降った」と語った。新しい農園を持つカカオ生産者のほとんどは、今後数週間の中に雨が降ることを期待して植え付けを始めたようだ。「先週植えた若いカカオは、先週降った一週間の雨の結果、とてもよく育ち始めている」と彼女は言います。

ナイジェリア :

Ikom の近くにある Etung LGA の Ajasor 村で農業を営む Henry Ogar Etta 氏によると、南東部の栽培地域の一部では依然として雨が少ないとのこと。ここ数ヶ月の乾燥した気候の後、土壌水分の回復が遅れている。その結果、ミッドクロップの時期が 8 月にずれ込む可能性があるようだ。南西部では、3 週間雨が降らなかったことで、作物や樹木に悪影響が出ていると、オンド州の州都アクレ近郊のオウオでカカオを栽培している Daramola Samuel 氏は述べています。

《西アフリカ地域の乾燥状態の予報 4月4日-4月10日》



*4月4日から始まる週の P/PET 予報。P/PET とは、その地域の蒸発需要に対する降雨量の割合を示したものです。比率が 1 を下回ると期間中に水分が不足することを示し、数値が低いほど作物へのストレスが大きいことを意味します。

3. カメルーンカカオ生産量を今後 10 年間で 60 万トン为目标 (4/9)

カメルーンは、2030 年までにカカオの年間生産量を 2 倍以上の 60 万トン以上にすることを目指しています。カカオ・コーヒー開発基金の責任者である Samuel Donatien Nengue 氏は、首都ヤウンデで記者団に対し、2020 年までに 60 万トンの生産量を達成するという以前の目標を修正することを発表しました。

- カメルーンでは、2030 年までに年間 64 万トンの生産量を見込む
- 500 億 CFA フラン (9, 100 万米ドル) の政府プログラムにより、ココアとコーヒーの生産者に肥料、化学薬品、噴霧器、高収量植物などの投入物が提供される予定
- 中央アフリカ諸国の生産量は、少なくとも 5 年間、25 万トン前後で推移している。

これまで同国では、農業に必要な肥料などの農業資材の不足、殺菌剤や殺虫剤の散布時期の理解不足、カカオの乾燥施設の不足、生産者からの買い取り価格の低下などにより、生産量が大幅に伸びませんでした。

4. コートジボワールのカカオ着荷数量 3 月 29 日 - 4 月 4 日の週は 1 万 5786 トン (4/8)

政府のカカオ業界のデータに詳しい関係者によると、コートジボワールの農民は先週、15,786 トンのカカオを港に送った。前年の同じ週の集荷数量は 32,263 トン。また、10 月 1 日にシーズンが始まって以来の総到着数は 178 万トンとなり、これは、昨シーズン 19/20 シーズンの同時期までの総着荷数量の約 179 万トンの推定値を僅かに上回る数字。

下記は、同国内でのカカオ豆を輸出及び加工用に買い付けた企業の上位リストである。

*期間は 20 年 10 月 1 日から 21 年 4 月 4 日までを反映。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	261,725
アウトスパン(オーラムグループ)	216,360
Saco社	169,664
Touton 社	122,914
S3C 社	122,704
その他企業	890,208
合計	1,783,575

5. 欧州連合と NGO "Solidaridad" のプログラムでリベリアの生産者に改良苗を提供 (4/9)

リベリア南東部の 1,500 人以上の零細生産者が、カカオ豆の効率的な生産と生産者の生活向上のために、改良されたカカオの苗を手に入れることになりました。各個別の生産者には最低 400 本の苗が提供されます。カカオバリューチェーン開発プログラム (COVADEP) の下、NGO である Solidaridad は民間のカカオ生産者と協力して、60 万本のハイブリッドカカオの苗をグランドゲデ郡とリバージー郡のさまざまな場所の生産者に少額で提供する予定です。

2018 年から Solidaridad は、リベリアの生産者が生産性を向上させるために、優れた農法のトレーニングを開始。新規のカカオ生産者は、カカオ栽培のために土地を準備する際に、キャッサバ、プランテン、バナナ、野菜などの食用作物も植えることで、農場の多様化を支援しています。

現在、リベリアでは、約4万人の零細生産者がカカオの生産に依存して収入を得ている。COVADEPプログラムは、この状況を改善するために、より多くの生産者がカカオビジネスに参入することを支援し、新しい知識や技術を身につけてもらうことを目的としています。

最終的にこのプログラムは、収入の増加、生活の改善、リベリアのカカオ部門の回復力・競争力の向上により、貧困の削減を目指しています。

COVADEPのプログラム・マネージャーであるMarvin Samuelは、零細生産者の生活においてカカオが重要な役割を果たしているにもかかわらず、カカオ豆の栽培や販売から利益を得るためのインセンティブや機会が少ないと述べています。「私たちは、生産者やカカオ産業への継続的な支援が、生産者の生産性を高め、最終的には収入の向上につながると確信しています。これにより、貧困が削減され、活気あるカカオセクターが促進されるでしょう」とマービン氏は述べています。

リベリア農業商品規制庁（LACRA）の長官であるジョン・S・フロモ博士は、関係者がカカオ栽培を実行可能な事業として推進することが重要だと述べました。これにより、多くの生産者がカカオ農場を拡大し、国内の輸出用商品の生産量を増やすことができると指摘しました。

彼は、Solidaridadが農民たちに改良された苗や能力開発を支援し、生産量の増加を促していることを喜んでいます。

「植え付け用のカカオの苗を受け取るのが待ち遠しいです。トレーニングで得た知識を活用して、生産性を高め、収入を増やしたいと思います」と語るのは、リバー・ジーのブリューロケンに住む50歳の生産者、ジョセフィン・トーさん。現在、ジョセフィンさんは、自分の農場に植えた食用作物の収穫を楽しみにしています。そして、その収穫で得たお金を使って、コミュニティで需要のある商品を売買するつもりです。収入が増えれば、子どもたちを学校に通わせることができるようになるという。

カカオバリューチェーン開発プログラムは、2020年に開始された4年間のプログラムで、欧州連合とSolidaridadが共同で出資しています。このプログラムは、リベリアにおけるカカオ部門の公的機関、規制、政策の枠組みを構築し、実施することも目的としています。さらに、民間のカカオ機関の中に中小企業（SME）として「カカオ開発センター」を設置・推進し、生産者やコミュニティにカカオの強化、再生、多様化のサービスを持続的に提供することを目指しています。COVADEPはまた、投資奨励策や起業のためのインキュベーションセンターの設立を通じてカカオ豆の付加価値を高め、リベリアで持続可能な方法で生産されたカカオや認証されたカカオに対する市場志向の需要を促進します。

6. ファンド勢のNYカカオ先物は、純買い越しポジションが減少、20週間ぶり低水準(4/10)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買いポジションを1,720ロット減らして、13,386ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで（今週で言えば、4月6日まで）の取引が含まれている。

- 買いポジションの総量は4月6日までで、前週より5,611減少して、39,788ロットとなった。この数字は過去20週間で一番低い水準。
- 売りポジションの総量は4月6日までで、前週より3,891ロット減少して、26,402ロットとなった。

7. ファンド勢のロンドンカカオ先物の純買い越しポジションを減らし5週ぶり低水準(4/10)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買いポジションを729ロット減らし、30,697ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、（今週で言えば、4月6日）の取引が含まれている。

- 純買いポジションは最近5週間の間で最も低い水準
- 買いポジションの総量は4月6日までで、前週より876ロット減って、33,800ロットとなり、最近5週で最も低い数量。
- 売りポジションの総量は4月6日までで、前週より147ロット減少して、3,103ロットとなった。

8. 新商品案内：日新化工株式会社のNK Premium シリーズ(4/6)

カカオの果肉、天然由来の赤い色が特徴のレッドカカオマスを使用したチョコレート「nk premium series 01 fruit / 02 red」をオンラインショップ限定で発売



左側は、カカオパルプ=カカオの果肉を粉末状にして、砂糖の代わりに使用したチョコレート

右側は、酸味の強い、赤い色をしたレッドカカオマスを使用したチョコレート

上記の写真及び製品情報は下記サイトより転載、また詳細の情報について知りたい方も下記及び同社オンラインサイトをご参照ください。

《同商品プレスリリース》

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000004.000077044.html>

《日新化工様オンラインECサイト》

<https://nisshinkako.com/>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。